

エコット 車載式トイレ

取扱説明書

お願い

このたびは、エコット 車載式トイレをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
当社では、この製品を安心してご使用いただけますよう細心の注意をはらって製作しておりますが、その取扱いを誤りますと思わぬ事故を引き起こすこともありますので、この取扱説明書に従い、正しくご使用くださいますようお願いいたします。
なお、この説明書はお使いになる方がいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。
また製造上の都合でルーフおよび本体色が違う場合がありますが、性能上問題なくご使用いただけます。

取扱いを行う皆様へ

この説明書は、エコット 車載式トイレを取り扱う方に必ずお渡しください。

重 要

本車載式トイレは、軽トラックの荷台に固定して使用するよう設計しております。
軽トラック以外の車両に載せての使用はできません。
また、軽トラックにて使用される場合にも法定速度を遵守の上、運転前には点検を欠かさずご使用下さい。

1 はじめに

エコット 車載式トイレがお手元に届きましたら、すぐ下記の点について調べてください。
万一、欠品や不良などがございましたら、お買い求め頂いた販売店までご連絡ください。

【付属品の確認】

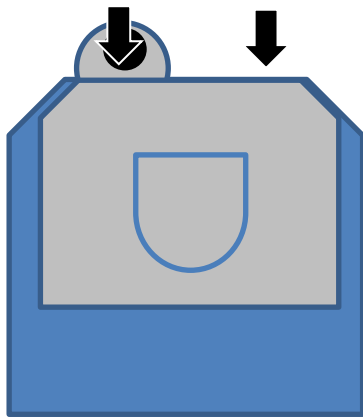
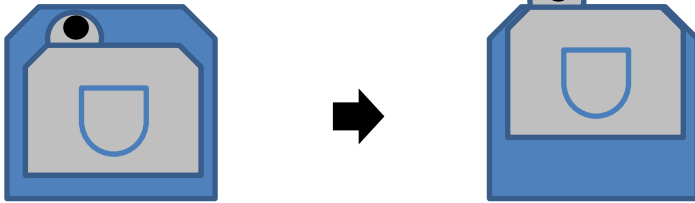
付属品がすべてそろっているか、確認してください。

梱包品 …	車載式トイレ本体	1棟
	ステップ	1台
	ステップ固定ベルト	1本
	ラッシングベルト	2本
	取扱説明書(本書)	一部
	水タンク取付用	
	六角ボルト M8×45	2本
	SW M8	2個
	平座金 8×26×2.0	2枚

2 タンク組立について

車載式トイレをお届けした時点では、便タンク・水タンクが建屋の中に収納されています。
便タンクのくみとり口が建屋外に出るように、水タンク・便タンクを建屋内奥にセットします。

お届け時



建屋背面の穴と水タンクのクリップナットの位置を合わせ、
建屋の外から平座金・SW・六角ボルトで固定します。



この位置になります。

3 臭突ホース取付について



ポリ袋をはがしてください。
このとき、先端黒色部品の内面にパッキンがありますので
落とさないように注意のこと



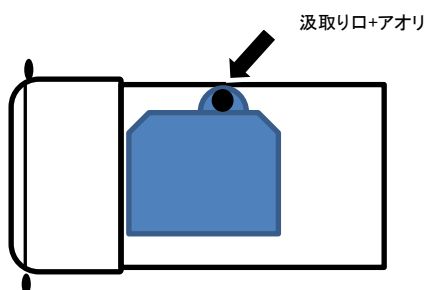
ホース側のパッキンをはめてから
タンクの汲み取り口キャップとホースを締め付けてください

4 トラック固定方法について

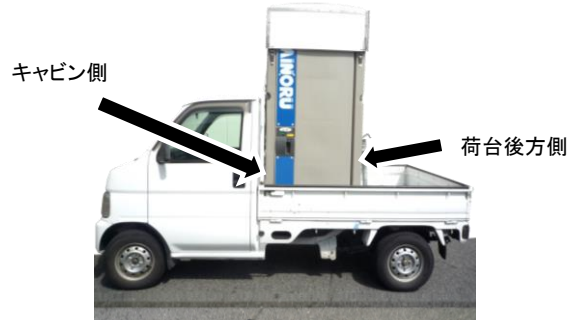
走行中や使用中に思わぬ事故を引き起こすおそれがありますので、正しく固定していただき、ご使用されますようお願い致します。

①車載式トイレの汲取り口をアオリにぴったりとつけてください。

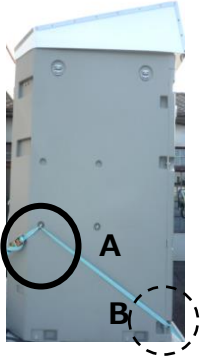
上から見た図



②車載式トイレのキャビン側と荷台後方側をラッシングベルトでトラックに固定します。



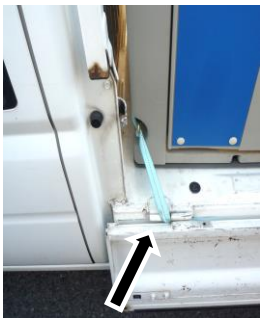
キャビン側



1) Aのアイボルトにラッシングベルト(バックルから端までが長い方)を通します。



2) 続けてBのアイボルトにラッシングベルトを通し1回巻き付けます。
このときアイボルトから荷台フック間はベルトがつっぱった状態で巻き付けをすること



蝶番

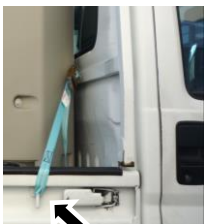
3) キャビン側の荷台とアオリの隙間の一番端からラッシングベルトを通し、一番近い 荷台のフックにかけます。

この時、近くにフックがない場合は、右の写真のように蝶番でラッシングベルトを曲げて、荷台のフックにかけようになります。



蝶番

フック

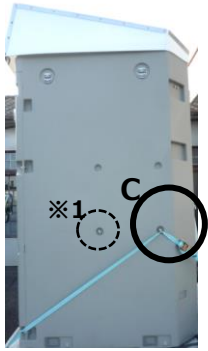


フック

4) ラッシングベルトのバックル側の端を、アオリを立てた状態でキャビンに一番近いアオリのフックに掛けます。

5) バックルを絞り固定します。

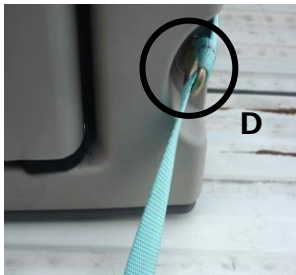
荷台後方側



1) Cのアイボルトにラッシングベルト(バックルから端までが長い方)を通します。

《注意》

※1のアイボルトは階段を固定するベルト用ですので、ラッシングベルトは通さないでください。こちらを使用するとパネル変形の原因となります。



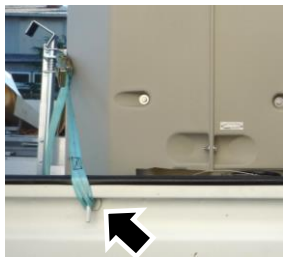
2) 続けてDのアイボルトにラッシングベルトを通し1回巻き付けます。このときアイボルトから荷台フック間はベルトがつっぱった状態で巻き付けをすること



3) 荷台とアオリの連隙間にラッシングベルトを通し一番近い荷台のフックにかけてください。



フック



4) ラッシングベルトのバックル側の端を、アオリを立てた状態で一番近いアオリのフックに掛けます。

5) バックルを絞り固定します。

③バックルでしっかりとラッシングベルトを張ってください。

④車載式トイレの左右両サイドを固定した後、前後左右に強く押して動くようなら再度バックルを締め直し、完全に固定してください。

※荷台が滑りやすく、トイレが固定できない場合はゴムマットなどを敷いて、滑り止め対策を行ってください。

固定完了後、車載トイレが前後左右に動かないことを確認してから走行してください。

少し車を動かして軽くブレーキを踏んで急制動を1～2回繰り返して異常がないことを確認してから再度ラッシングベルトを増し締めして固定してください

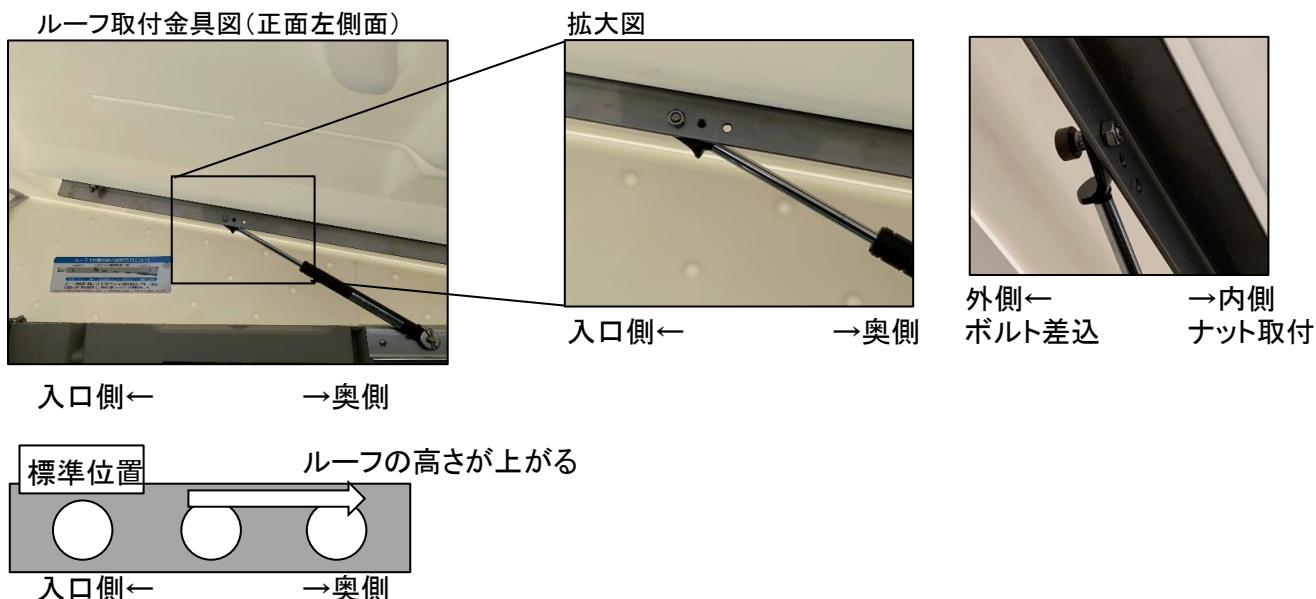
⑤ステップの固定



ステップのフックをトラック後面に向け、ベルトのバックルを留めベルトを引っ張ってきつく締めてください。

5 ルーフ補正について

新品を使い始めて数日経ったり、気温の変化でパネルがあたたかくなると左右のルーフの高さが変わってきて、ドアにあたる場合があります。
その際には、ルーフの取付金具の位置を変更し高さ調整をしてください。



手順

- 1)ルーフ取付金具の内側にある六角ナットを外します。
- 2)ルーフ取付金具の外側からボルトを回し、取り外します。
- 3)ボルトの位置を移動し、再度固定します。取付位置を奥側へ移動させるとルーフの高さが上がります。
- 4)取付金具内側へ出ているボルトへ六角ナットを取付します。

注意

左右同時にボルトを外すとルーフが脱落し、本体の破損や作業者の思わぬケガに繋がる可能性があります。ボルトの締結が不十分であったりナットの増し締めが不足していると、使用中や走行中にルーフが外れ重大な事故が生じる可能性があります。

安全にご使用いただくために、必ずお守りください。



側面吊金具を使って、ラッシングベルト・ロープ等でトラックに固定しないでください。

→車載式トイレが変形します。

- 側面吊金具は、クレーンにてトラックに積み降ろしまたは移動させる場合にご使用下さい。その場合は、タンクが空であることを確認して必ず4点にて吊ってください。
- 側面吊金具で吊る場合は、可動式ルーフとワイヤーが干渉し、ごく稀に傷つくことがあります。万一、傷つきましても商品機能に支障が出るようなものではありませんが、布やフェルト等の緩衝材を間にはさむことで傷を防ぐことができます。
- 吊上げ作業時は安全に留意して作業を行ってください。



車載式トイレのルーフに、ラッシングベルト・ロープ等をかけトラックに固定する場合は下記にご留意ください。

→強く締め付けて固定するとルーフが破損します。

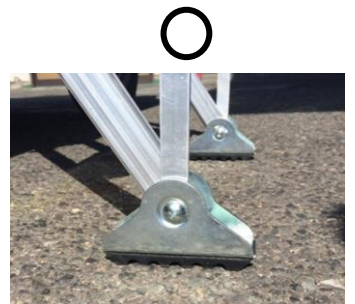
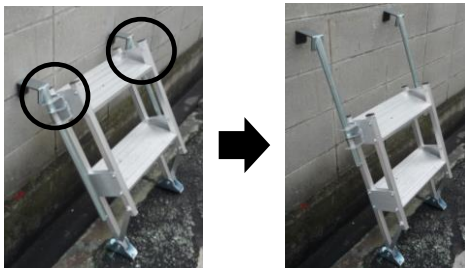
ただし長距離や高速での移動などで、より安全に固定する場合はテンションを落として固定してください



ステップの高さを合わせ、足を地面にぴったりとつけてください。

→ご使用中にステップが動き、落下のおそれがあります。

- ステップの両サイドで高さ調整ができます。ステップを荷台の高さに合わせ、足の角度を変えてゴム面が必ず地面につけて取付けしてください。



※オプションで、ステップ手すりもございます。





移動中は必ず施錠をしてください。

→走行中にルーフが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 可動式ルーフをロープやワイヤーで押さえ込む場合は、強く締め付けしないでください。破損や思わぬ事故に繋がるおそれがあります。
- パッチン錠(2か所)、ドアロック、トラックのあおりを確認してから走行してください。

ドアロック



マイナスドライバーで開閉できます。

パッチン錠



あおりは必ず締めてから走行をお願いします

6 タンク使用方法について



ポンプ、ハンドル
ハンドルを下げることで
ポンプを押して
水を流します



水タンク(65L)

消臭剤の使用の際は純正のものをお願いします

便タンク(85L)



給水口

キャップを外して給水ください

汲み取り方法

キャップを外して便タンクの汲み取りをお願いします

キャップを外す際はホース側のねじを外してからキャップを外してください

時々キャップをあけて8分目目安で汲み取りをお願いします

水タンクドレン位置

室内側へドレンキャップがありますので外していただくとタンク内の水が外へ廃水されます



7 修理・メンテナンスについて

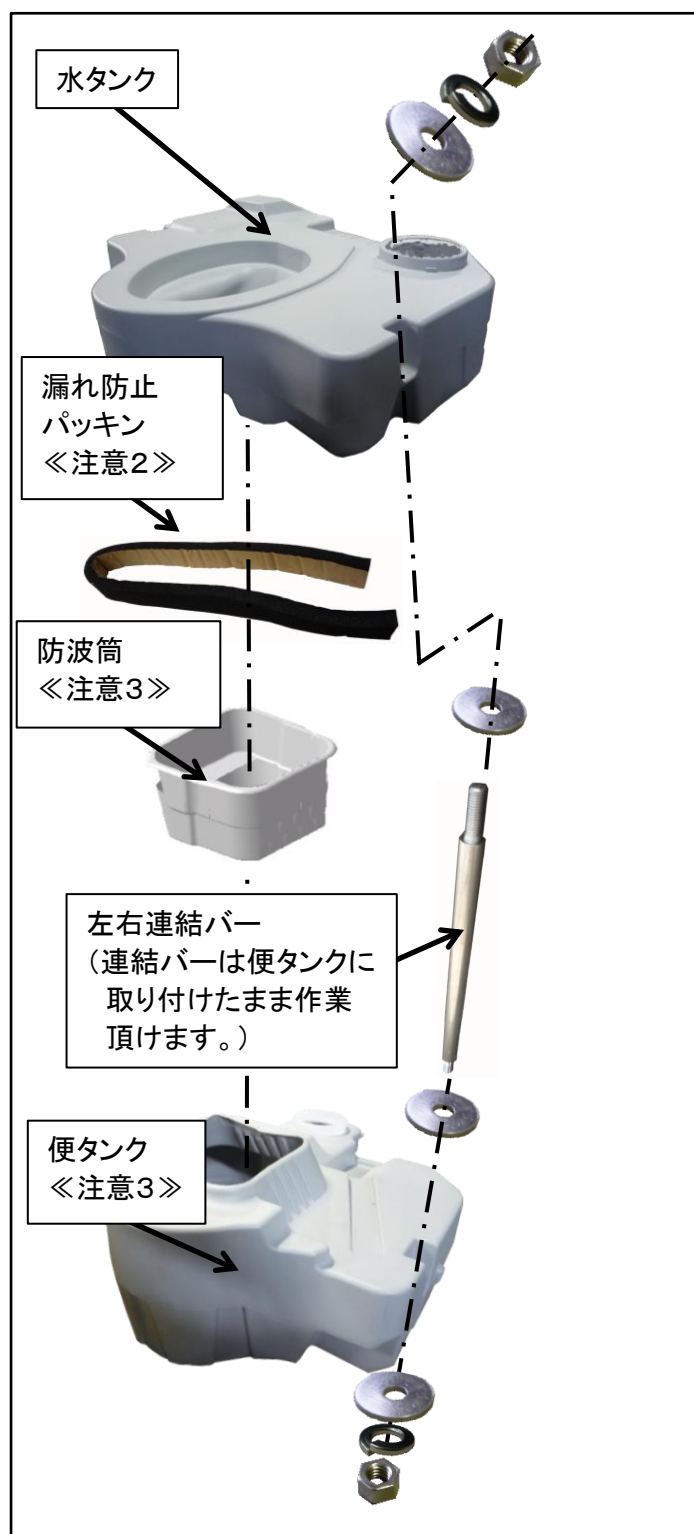
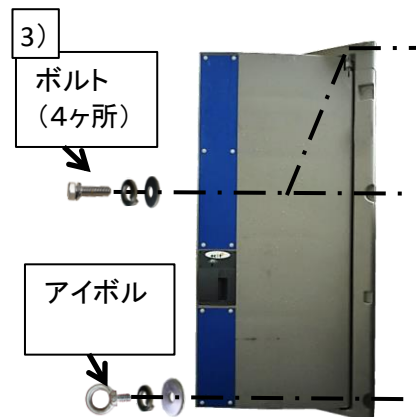
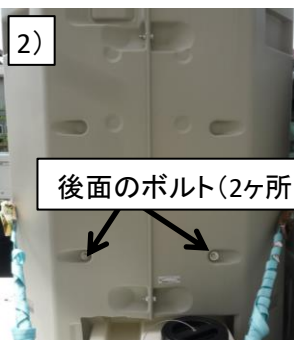
水タンク・便タンクの清掃

1) 水タンクと便タンクの中身を空にしてください。

2) 後面のボルト(2ヶ所)を外してください。

3) トイレ正面のドアフレームのボルト(4ヶ所)、アイボルト(2ヶ所)を外してください。

4) 水タンクと便タンクを一緒に、手前に引っ張ると、水タンクと便タンクが取り外せますので、メンテナンス頂けます。



《注意》

1. 組み上げ後は、便タンクに10~20ℓの水を入れて、横にして漏れがない事を確認してください。
2. 頻りにタンクを分解される場合は、このパッキンが消耗品となりますので、時々交換してください。
3. 防波筒と便タンクはシリコンコーキングにて、アッセンブリされています。破損などでの修理時以外は取外さないでください。又、一度取外すと、再度、シリコンコーキングをほどこす必要があります。

みのろ化成株式会社

本社 〒709-0816 岡山県赤磐市下市388番地1
TEL. (086) 955-3419 FAX (086) 955-3135

<http://www.minorukasei.co.jp>